

# 2025年12月期第2四半期 決算説明資料

株式会社シャノン  
(東証グロース市場：3976)

2025/6/12



## 新体制による経営変革の第1期がスタート

社名	株式会社シャノン (SHANON Inc.)
上場市場	東証グロース (3976)
設立	2000年8月
代表者名	代表取締役CEO 山崎浩史
本社	東京都港区浜松町二丁目2番12号
従業員数	連結244名 (2025年4月末時点)

役員構成	代表取締役CEO	山崎浩史
	取締役	大江翔
	社外取締役 監査等委員	松原由高
	社外取締役 監査等委員	岡田英明
	取締役 監査等委員	笹岡大志
	執行役員 マーケティングクラウド事業担当	角田雄司
	執行役員 イベントクラウド事業担当	中山弥
	執行役員 CTO	井上史彰
	執行役員 製品戦略担当	堀讓治
	執行役員 CFO	友清学
	執行役員 CMO	浅野哲



## 通期の営業黒字化が最優先課題

### FY2025 2Q業績ハイライト

売上高

**1,436**

百万円

(前年比96.9%)

営業損益

△ **21**

百万円

(前年比72百万円改善)

ストック売上高  
(サブスク売上)

**873**

百万円

(前年比110.2%)

ストック型売上  
比率

**60.8%**

(前年比7.3pt上昇)

解約率\*  
(件数ベース)

**1.3%**

(前年同期時点：1.2%)

売上高  
販管費率

**65.0%**

(経営KPI目標：55%)

- 主力のサブスクリプション売上がYoY10%超と堅調
- 前期の一部事業譲渡に伴う売上剥落も影響は限定的
- 4月末の経営体制変更に伴う影響は3Q以降に顕在化

\* 直近12か月の月次解約率の平均値

# 2025年12月期 2Q業績

---

# FY2025 2Q累計 損益計算書 (連結)

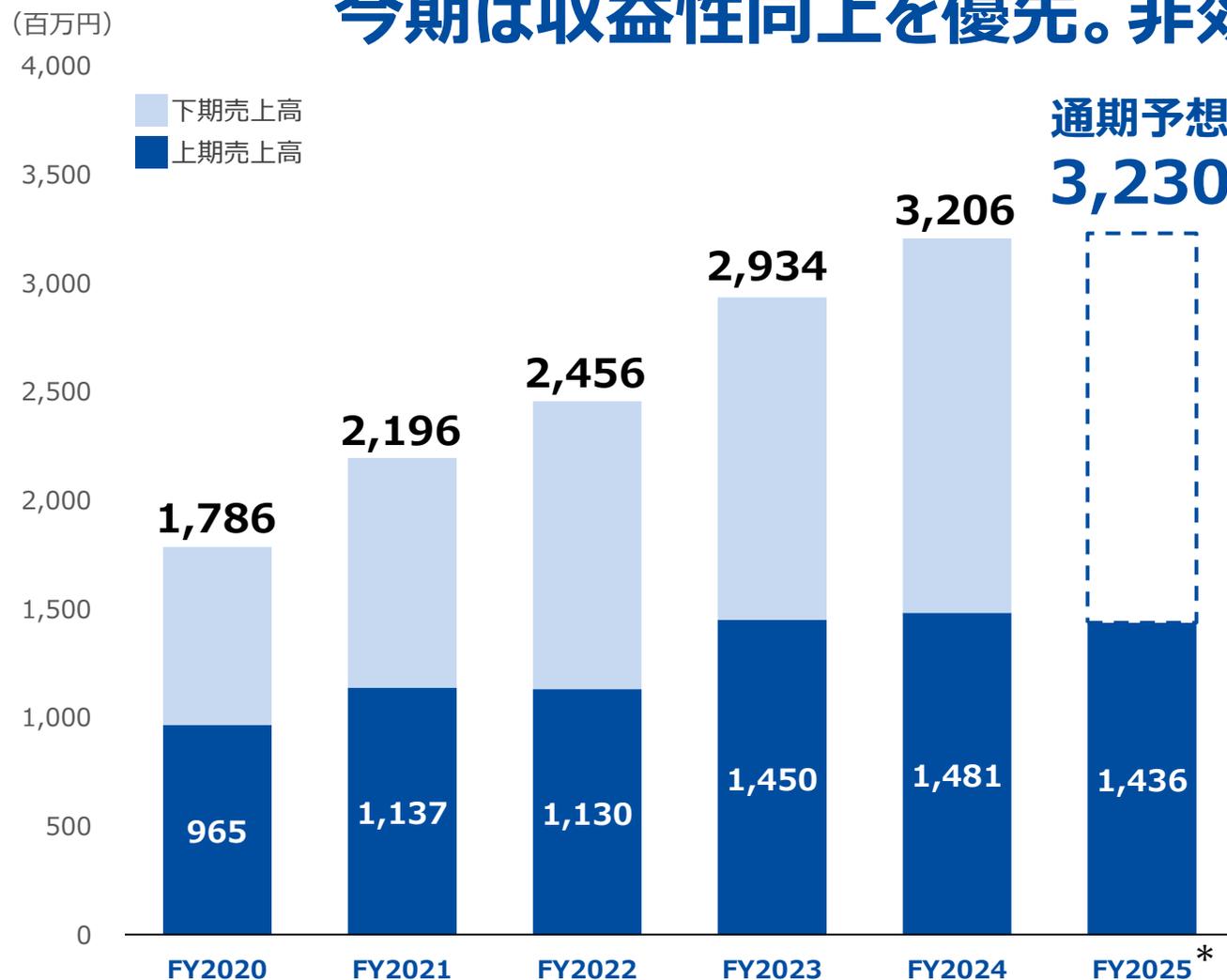
## 高収益事業への集中・販管費コントロールにより利益改善が進行中

(百万円)

	FY2024 2Q累計	FY2025 2Q累計	変動額	変動率
売上高	<b>1,481</b>	<b>1,436</b>	△45	<b>96.9%</b>
売上総利益	893	911	+17	102.0%
(売上総利益率)	60.3%	63.5%	+3.1pt	—
販管費	987	932	△54	94.5%
<b>営業損益</b>	<b>△93</b>	<b>△21</b>	<b>+72</b>	—
経常損益	△93	△70	+23	—
当期純損益	△94	△157	△63	—

# 売上高推移

## 今期は収益性向上を優先。非効率な売上成長はしない

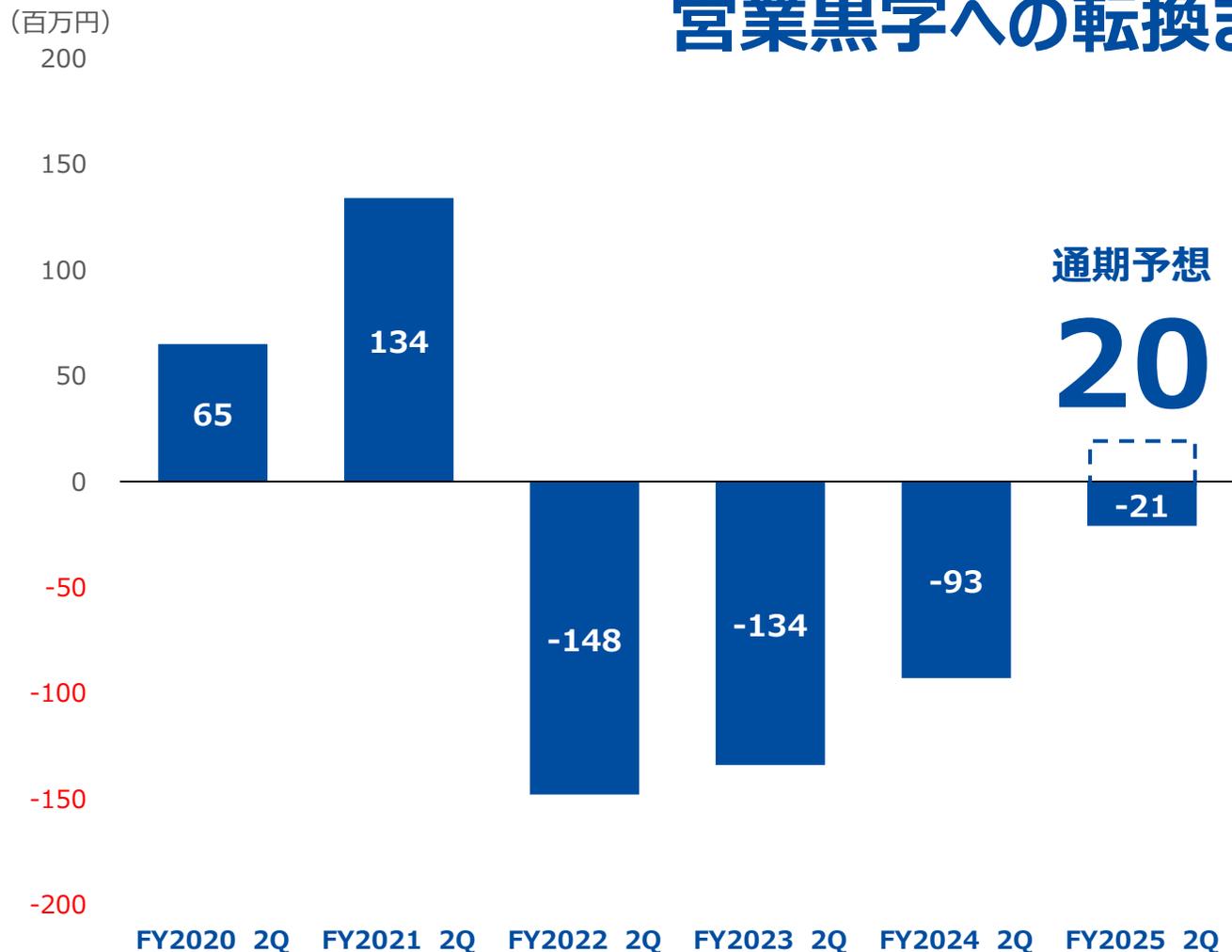


- 従来からのコスト先行型の売上成長をやめ、収益性向上を優先するため意思ある踊り場を形成
- 前期の一部事業譲渡の影響もあり、12か月ベースでは売上高は前期比減少を見込む

\* 2025年4月の臨時株主総会にて決算期を変更した影響により14か月決算

# 営業損益推移

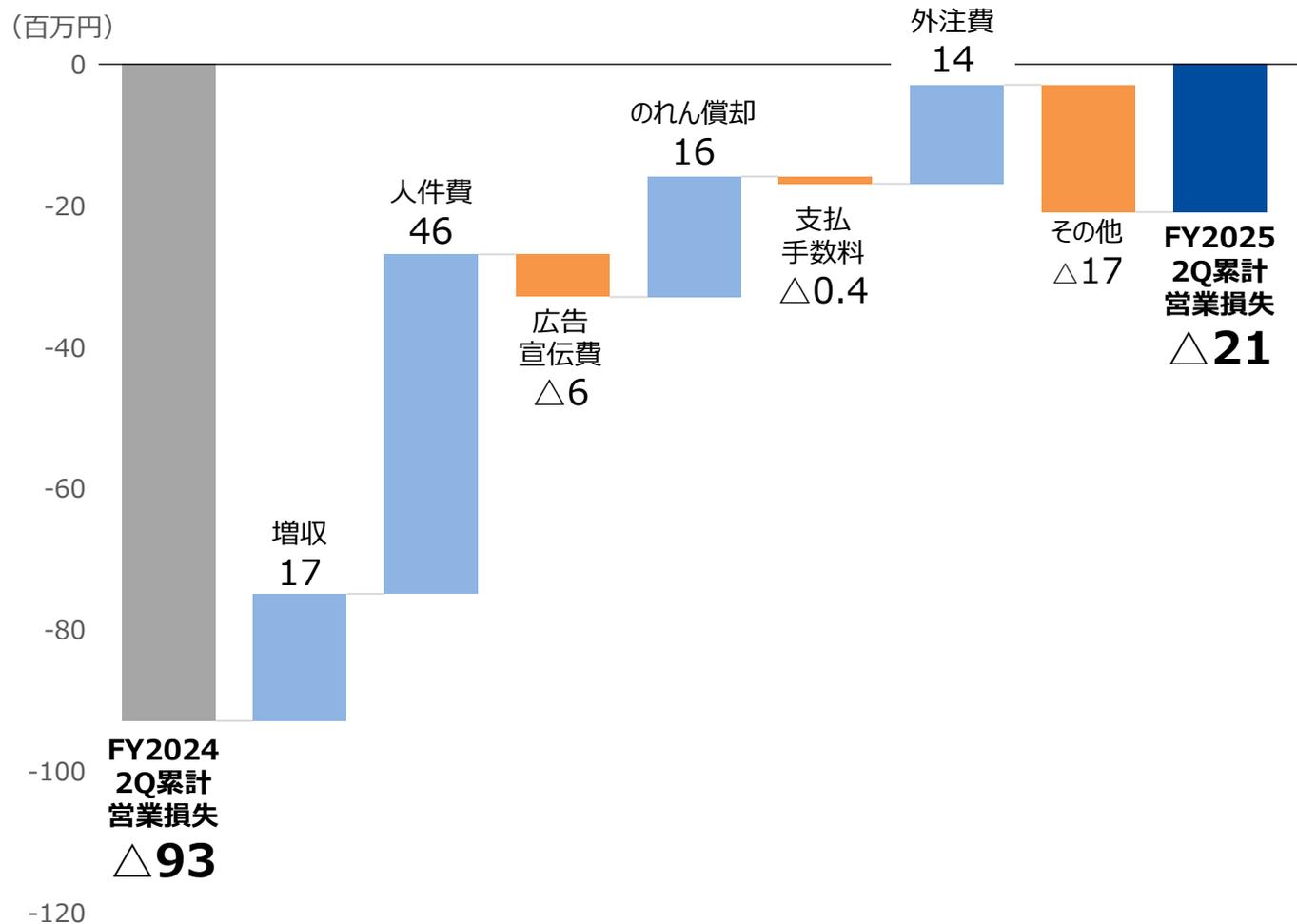
## 営業黒字への転換まであと一歩



- 前期より取り組んできた不採算事業の整理、販管費コントロールにより、前年比からの営業損失の圧縮ペースが加速
- 今期は営業利益20百万円の黒字転換に向けて、収益重視の経営を徹底

# 営業損益分解

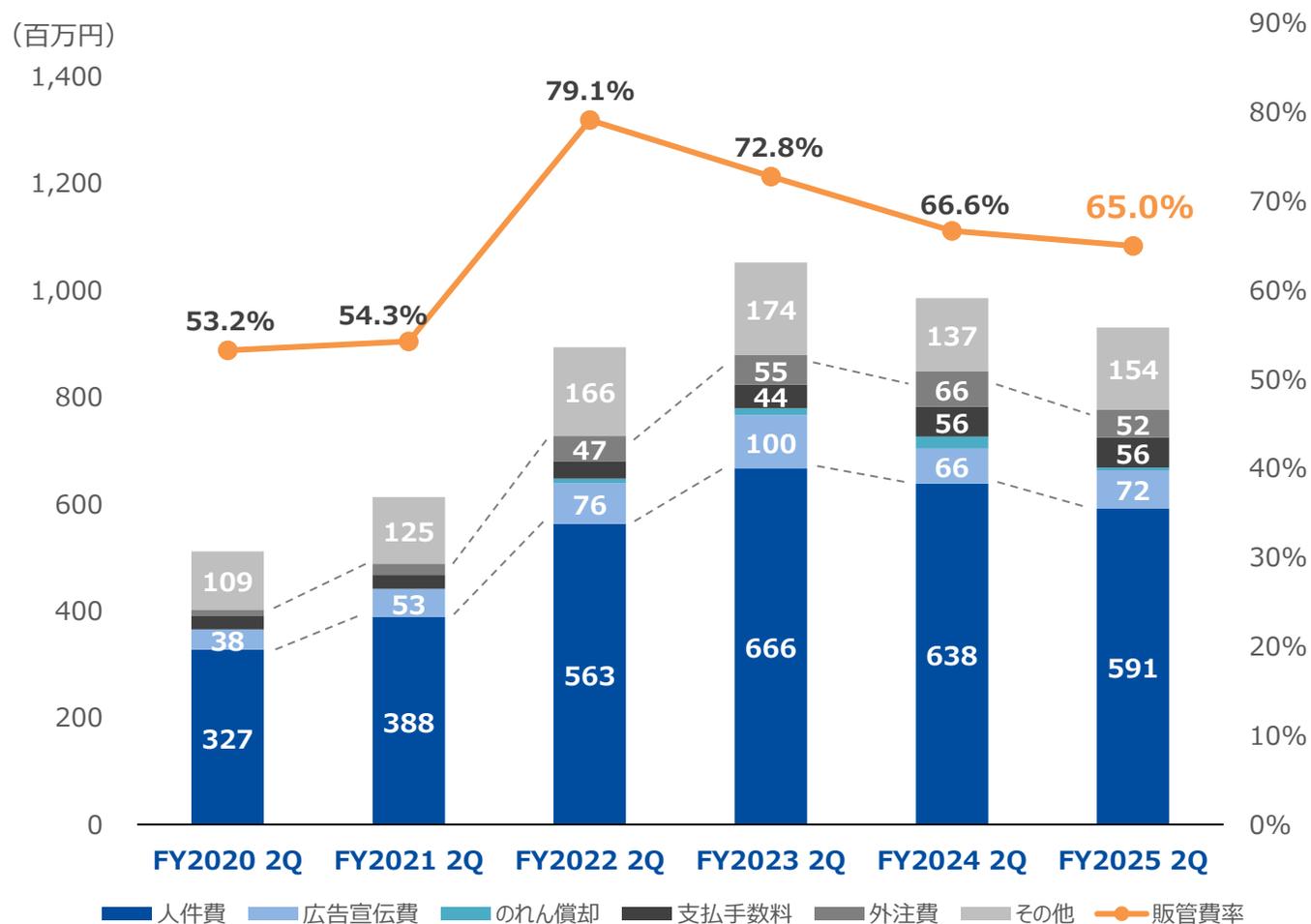
## 経営体制の変更、不採算事業の整理によりコスト圧縮が進行



- 取締役体制の見直し、中途採用の停止による人件費影響が寄与
- 3Qよりマーケティング活動方針を転換。広告宣伝施策及び営業体制の拡大路線見直しを通じて、営業利益の押し上げ効果が出てくる見込み

# 売上高販管費率の推移

## 目標KPIである55%まで、まだ道半ば



- FY2022以来の事業拡大を見据えた採用、広告宣伝の拡大方針を転換
- 経営KPIとしている55%の水準までコントロールすることでオーガニック成長を前提に十分な利益創出が可能

# FY2025 2Q累計 セグメント別売上高

高収益のサブスクに全集中。  
プロフェッショナルの減収・イベントの一過性の増収は想定どおり

(百万円)

	FY2024 2Q累計	FY2025 2Q累計	変動額	変動率
①マーケティングクラウド事業	1,292	1,137	△154	88.1%
ストック売上				
①-A サブスクリプション	792	873	+80	110.2%
①-B プロフェッショナル	499	264	△235	52.9%
②イベントクラウド事業	189	298	+108	157.6%
売上高 (①+②)	1,481	1,436	△45	96.9%

※FY2025より事業セグメントを変更しているため、FY2024 2Q累計は新セグメントに調整した値

# FY2025 業績予想（連結）

## 利益志向経営にシフト。今期はまず営業黒字を実現

(百万円)

	FY2024 10月期 実績	FY2025 12月期* 予想	変動額	変動率
売上高	3,206	3,230	+24	+0.7%
営業損益	△51	20	+71	-
(営業利益率)	-	0.6%	-	-
経常損益	△53	△18	+35	-
当期純損益	△101	△135	△34	-

\* 2025年4月の臨時株主総会にて決算期を変更し、10月期決算から12月期決算に変更。現進行期は2024年11月から2025年12月までの14か月決算

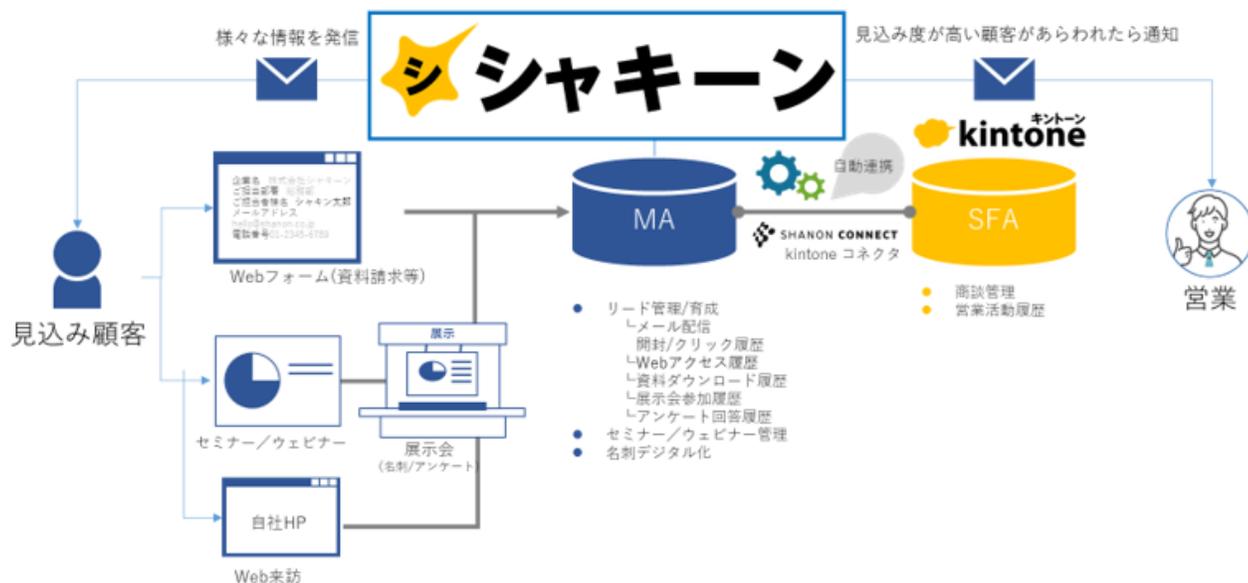
# FY2025 2Q 貸借対照表 (連結)

## レガシー資産・負債の整理によりBSはシェイプアップ・財務健全性が向上

(百万円)

	FY2024 期末時点	FY2025 2Q末時点	変動額	変動率
流動資産	1,376	1,107	△268	80.5%
うち現金及び預金	763	737	△25	96.7%
固定資産	783	589	△193	75.3%
<b>資産合計</b>	<b>2,169</b>	<b>1,698</b>	<b>△470</b>	<b>78.3%</b>
流動負債	986	778	△208	78.8%
固定負債	1,235	68	△1,166	5.6%
<b>負債合計</b>	<b>2,222</b>	<b>846</b>	<b>△1,375</b>	<b>38.1%</b>
株主資本	△68	842	911	—
<b>純資産合計</b>	<b>△52</b>	<b>851</b>	<b>904</b>	<b>—</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,169</b>	<b>1,698</b>	<b>△470</b>	<b>78.3%</b>

## 中堅・中小企業マーケットへのアプローチ強化 サイボウズのkintoneと連携した新プラン 「**シャキーン**」をリリース



- 主に大企業～中堅企業に提供してきた当社既存サービスを、中堅中小企業向けにkintone連携サービスとして新たに展開
- マーケティングDXを推進する中堅中小企業は、MAを活用した本格的なマーケティング機能を手軽に利用可能

\* 詳細は、2025年6月12日付ニュースリリース「[サイボウズkintone×シャノン新プラン「シャキーン」をリリース 中堅・中小企業のDX推進を加速](#)」参照

# シャノンの新経営プラン

---

(2025年5月12日開示情報の再掲)

### 早期の黒字転換・利益志向経営

高収益事業  
に集中

サブスク売上成長率  
(直近5期CAGR実績)

+ **13.4%**

を継続

聖域なき  
コスト改革

売上高販管費率

**55%**未満

営業黒字  
へ転換

営業利益の中期目標KPI

**10%**超

# 過去経営との決別 利益成長フェーズへの移行を急ぐ

## ヒト（人材・体制）

- **執行体制の刷新**  
（前例なき社内公募）
- **機能別組織から  
事業別組織に再編**
- **若手の成長加速**

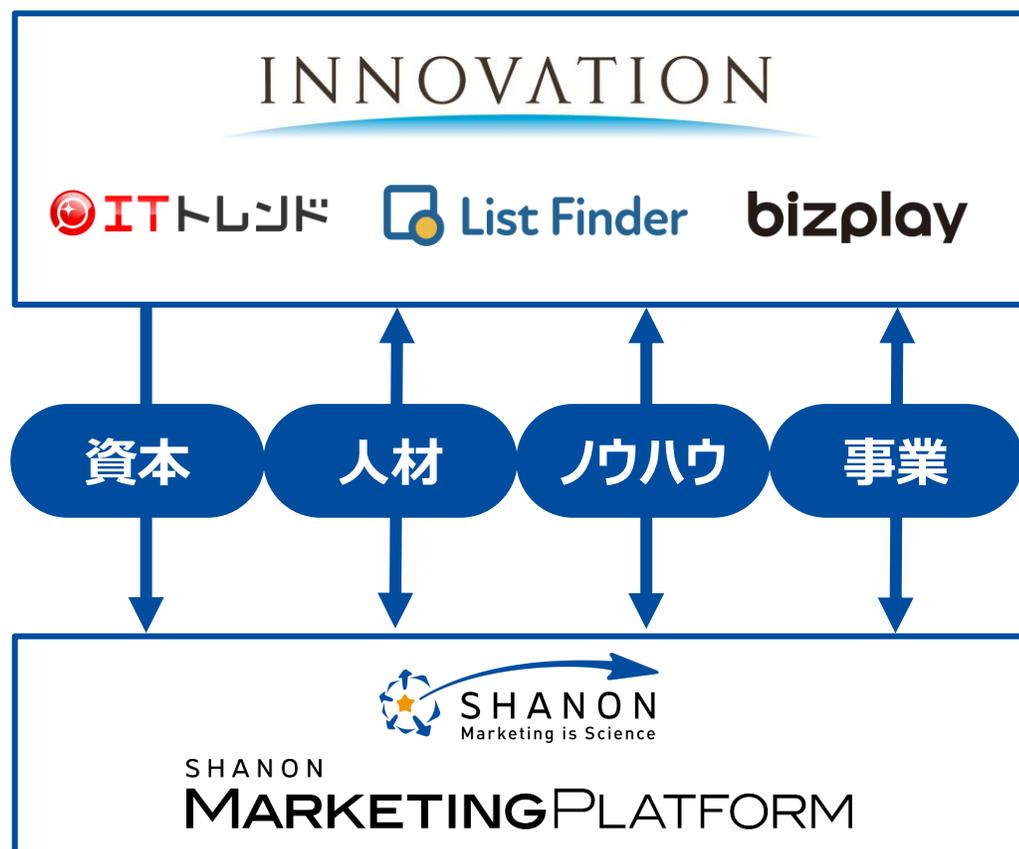
## モノ（事業）

- **自前主義を廃止  
外部との連携拡大**
- **費用対効果を精査  
コスト構造刷新**
- **レガシー資産整理**

## カネ（資本）

- **黒字経営による  
資本増強**
- **人材、技術への  
投資再開を急ぐ**
- **M&Aに向け資金  
調達体制を強化**

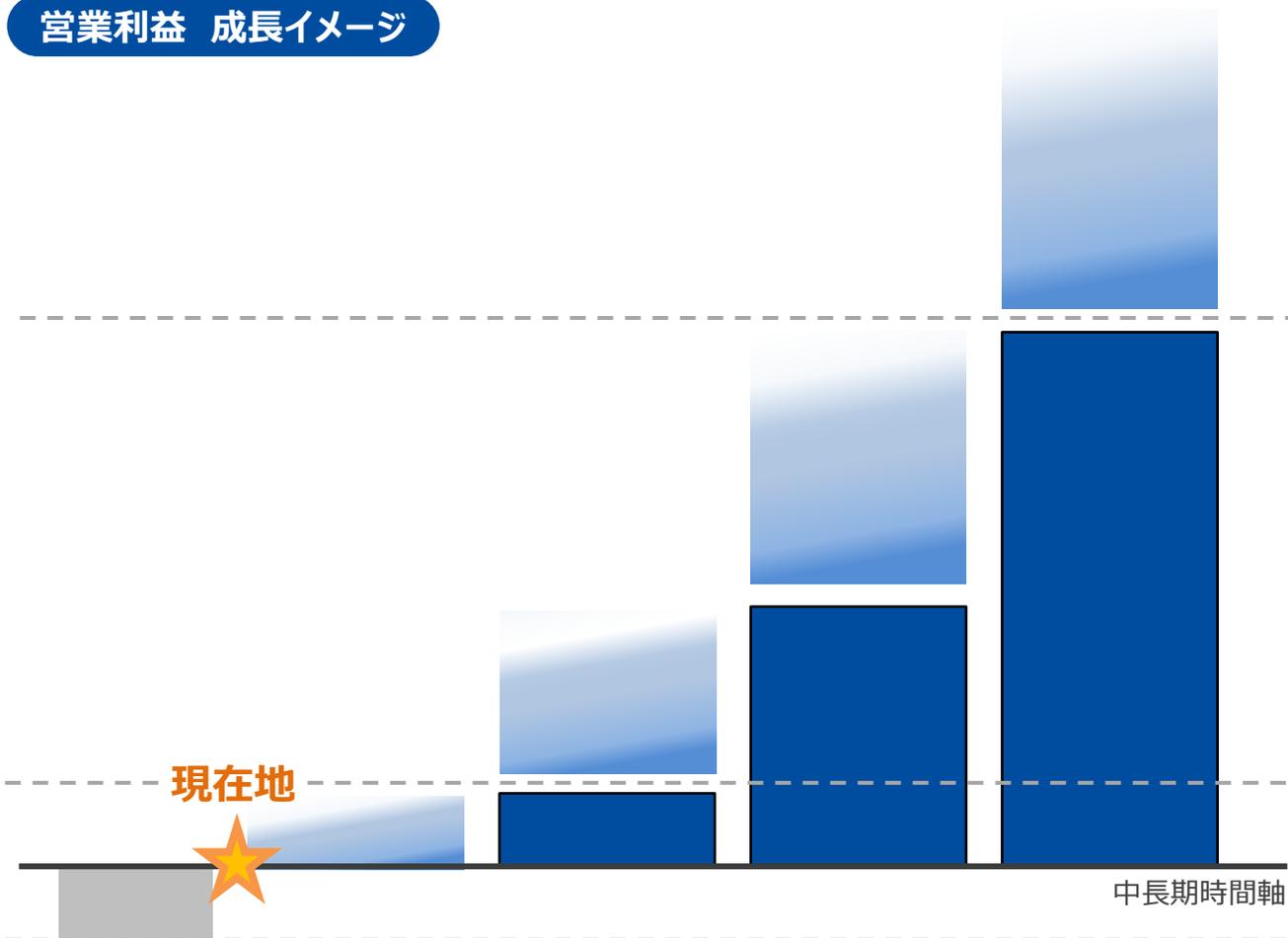
# 経営リソース（ヒト・モノ・カネ＋ノウハウ）の融合



国産MA No.1に向けて  
グループリソースを最大活用

## 再建 + 成長アクションを一斉着手し成長前倒し

営業利益 成長イメージ



人材・技術・マルチプロダクト  
を高度に融合した  
SaaS事業体へ

売上・利益の成長加速  
国産MA No.1へ

早期黒字転換



[ir@shanon.co.jp](mailto:ir@shanon.co.jp)

#### Disclaimer

- ・ 本資料において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報（forward-looking- statements）」を含みます。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社または当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は将来実現しない可能性があります。
- ・ これらリスクや不確実性には一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動等、一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ・ 本資料は当社の株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資判断を行う際は投資家ご自身の判断において行っていただきますようお願い致します。